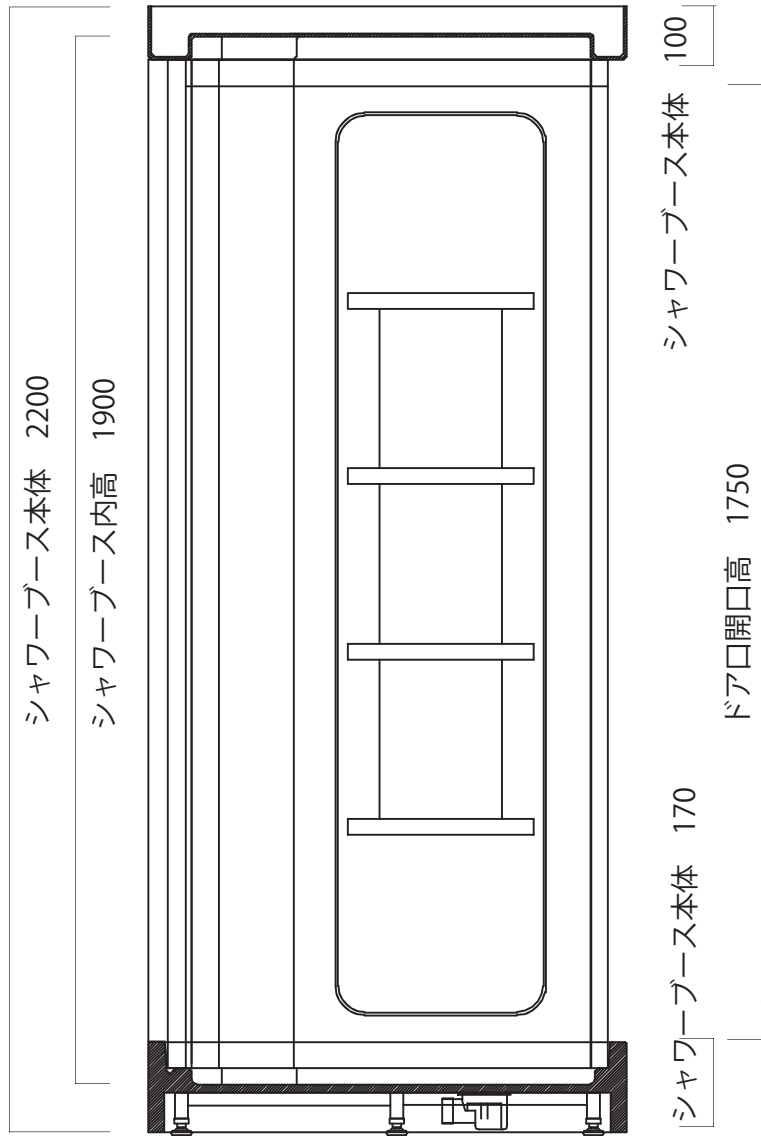
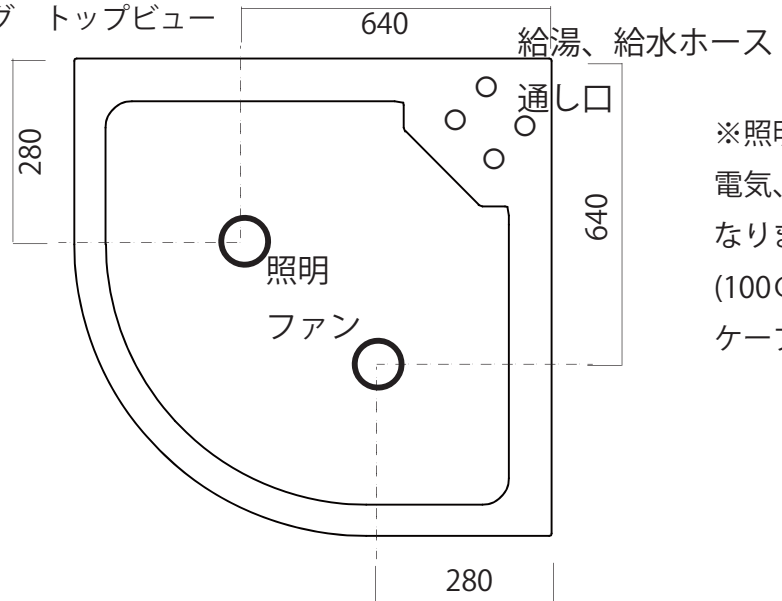


シャワーブース フロントビュー

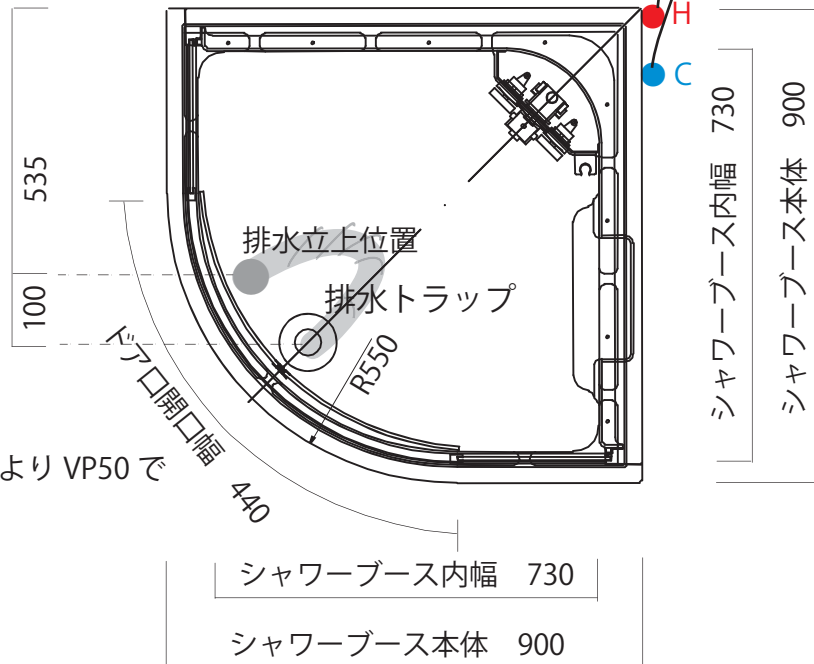


シーリング トップビュー



※照明、ファン使用時は  
電気、設備工事が必要と  
なります。  
(100Φダクト、電気、  
ケーブル他)

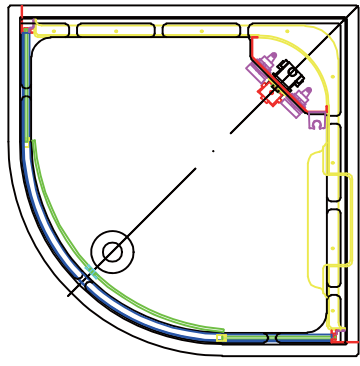
ベーストレイ トップビュー



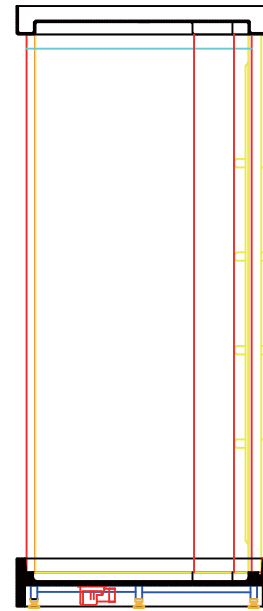
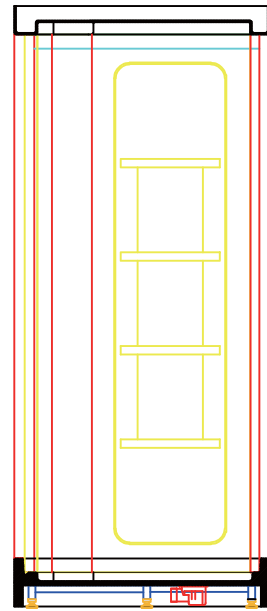
※排水は床よりVP50で  
FL+0 ~ 10

承認	検図	製図	設計	作成日	変更日	変更内容	品名	シャワーブース SR0909	図名	正面・側面図 天井平面図
				尺度	①					図番

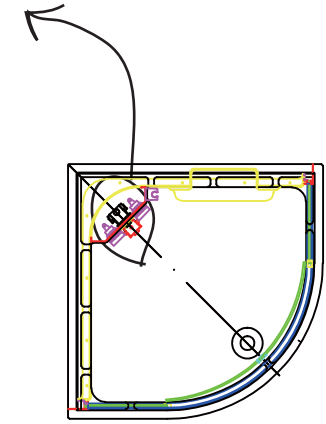
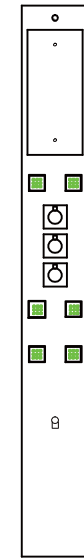
トップビュー



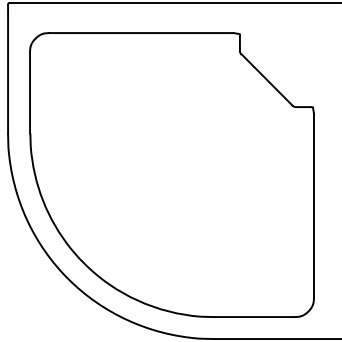
シャワーブース フロントビュー



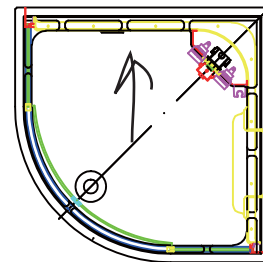
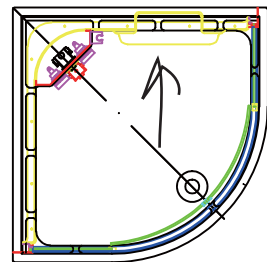
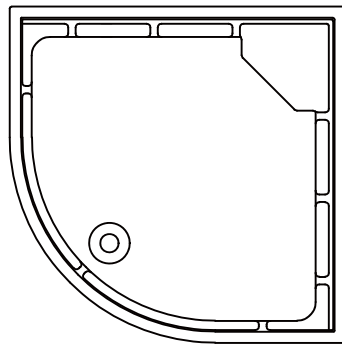
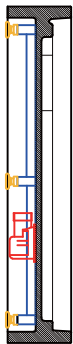
シャワータワー フロントビュー



シーリング トップビュー



ベーストレイ トップビュー



	承認	検図	製図	設計	作成日	変更日	変更内容	品名	シャワーブース	図名	正面・側面図
					尺度	① . .			SR0909	図番	天井平面図
						② . .					
						③ . .					

※ご注意

オプションで換気ファン・照明等をご使用の場合、配線工事及び換気等の建築工事が別途発生いたします。  
あらかじめ、専門工事店等にご相談の上、内容等をご確認ください。

配線は壁内でおこないスイッチは外付けで壁側へ取り付けるよう建築工事にてお願いします。

この際、現場にて漏電ブレーカー等の器機の設置が必要になる場合もございます。専門工事店にご相談下さい。

※※本体を壁面に埋め込んだり、本体を動かせなくなる状態での設置は絶対におやめ下さい。

施工後のメンテナンス等の都合により、シャワーブース本体を移動させる場合がございます。

また、本体を転倒防止等の理由により固定する場合は、天井パネル上部に、ビス、ボルト等で固定して下さい（別途工事）。  
この際、ブースメンテナンス時に着脱できる状態で設置して下さい。

※※電気式給湯器等をご使用の場合、水圧を1.5kgf/cm<sup>2</sup>以上確保して下さい。  
水圧不足はサーモスタットの不具合の原因となります。

あらかじめ、水圧の確認をお願いします。

シャワー、ボディーシャワーの体感水圧には個人差がございます。

あらかじめ、加圧、減圧、など事前に必要な場合は専門業者にてご検討下さい。

FL+2000mmの位置で壁から給湯給水してください

給湯・給水口はG1/2をご使用下さい。

給湯・給水にはボールバルブ（別売）を必ず設置して下さい。

床から配管する場合、配管後にボディーで隠れるように

ボディーの外部で配管を立ち上げて下さい。

その時、ブースと壁に隙間ができます。ご了承ください。

組み立て時にシャワーの巾（W=900）の両方向に

+300mmのクリアランスが必要です。

トラップ内臓型ですので別途トラップは不要です。ダブルトラップにご注意下さい。

VU, VP50, 75用防臭ゴムを排水ホースの先に取り付けた後、配水ホースと接続して下さい。

各パーツはビス止め後、内部よりパッキン及びコーキングで必ず止水して下さい。

排水ホースのねじれや圧迫は排水能力の低下の原因となります。

必ず潰れやネジレの無い状態で配管されている事を確認してください。

また、念のためオーバーフローや災害時の破損による漏水事故防止のため

設置場所に別途防水処理を行うことをお勧めいたします。

耐加重300kg以上の床構造が必要です。



	承認	検図	製図	設計	作成日	変更日	変更内容	品名	シャワーブース SR0909	図名	正面・側面図 天井平面図
											① . .
					尺度	② . .					
						③ . .					